

【 タキソール・カルボプラチン(TC療法)を受ける患者さんへ 】

婦人科領域の悪性腫瘍の代表的な疾患として、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん（腹膜がん）があります。がんの三大治療である化学療法を行う際に使用する代表的な抗悪性腫瘍薬として、パクリタキセル及びカルボプラチンがあります。パクリタキセルはアレルギー、口内炎、筋肉痛、関節痛、手足の痺れ、カフボプラチンは血小板減少などが、特徴的な副作用です。これらの薬剤を術前補助化学療法として、術後補助化学療法として、進行がんの緩和治療として使用します。当科では、年間約80名の患者さんがこの化学療法を受けています。タキソール・カルボプラチンの化学療法を受ける患者さんはこのような入院生活を送ります。

産婦人科		タキソール・カルボプラチンを受ける患者さんへ		
患者氏名:		主治医:		担当看護師:
項目	月日	入院当日	入院2日目	退院日
達成目標		不安な点、疑問点を医療者に確認できる。 化学療法による副作用症状が理解できる。	副作用があれば医療者に伝えることができる。(吐気・関節痛・痺れ)	副作用症状の対処方法を理解して退院できる。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置	点滴	点滴 夜から点滴が入ります。	お薬が2剤入ります。夕方まで点滴があります。点滴終了後に点滴抜針します。	
	内服	持参されたお薬は薬剤師/医師または看護師にお見せください。	1本目のお薬を入れる30分前にアレルギー予防の内服薬があります。 お薬が入っている間はこまめに検温させていただきます。	
検査		採血・尿の検査をします。	毎日朝食後に体重を測ってください。	
活動・安静度			お薬が入っている間はトイレ以外はなるべくベッドで安静にお過ごしください。	
食事		常食です。		
清潔		点滴がない時は刺入部位を保護してシャワー浴可能です。看護師に声をかけてください。		
排泄		退院日まで毎回、尿量を測定してください。		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		<ul style="list-style-type: none"> 病棟看護師から入院生活、病棟設備についての説明があります。 お名前を確認するためのリストバンドを腕につけて頂きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が漏れた場合(痛み・赤み・熱感・腫れ等)はすぐに看護師に教えてください。 食欲不振や吐気がある時には教えてください。 水分は多めに取るように心がけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回外来日は忘れずに受診してください。 発熱や食事ができないほどの吐気がある時は予約日以外でも外来受診してください。 うがい、手洗いをし、外出時はなるべく人ごみを避けてください。 
<p>ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。 退院後の予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。 東邦大学医療センター 大森病院 作成日:平成29年9月29日</p>				